

# 大阪の水道

人と技術で  
つながる  
広がる  
水の未来



水をつくる

水を届ける

水を守る

水を送る



## 大阪広域水道企業団

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目3番12号マルイト谷町ビル  
TEL : 06(6944)6862 FAX : 06(6944)6868  
URL : <http://www.wsa-osaka.jp/>



大阪広域水道企業団

## 大阪広域水道企業団とは

大阪広域水道企業団は、大阪府営水道を引き継ぐ団体として、2010年度に大阪府内の42市町村が共同で設立した一部事務組合（特別地方公共団体）です。

2011年度から、水道用水を42市町村に供給する「水道用水供給事業」と工業用水を府内の事業所にお届けする「工業用水道事業」を実施するとともに、2026年4月1日現在、府内10市8町1村（岸和田市、八尾市、富田林市、柏原市、高石市、藤井寺市、泉南市、四條畷市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村）を対象に、ご家庭などに水道水をお届けする「水道事業」を実施しています。

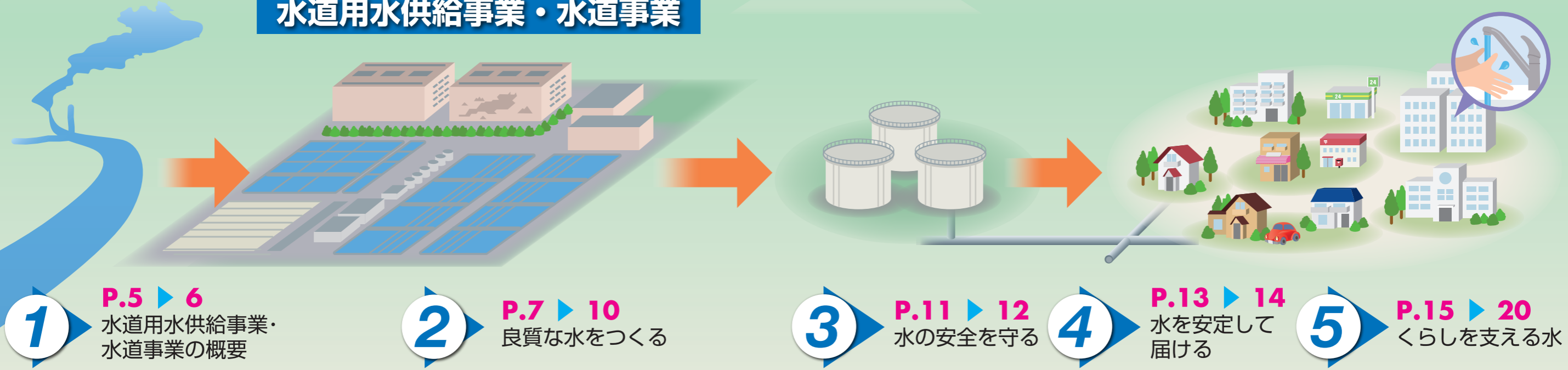
## 大阪広域水道企業団理念

### 人と技術でつながる 広がる 水の未来

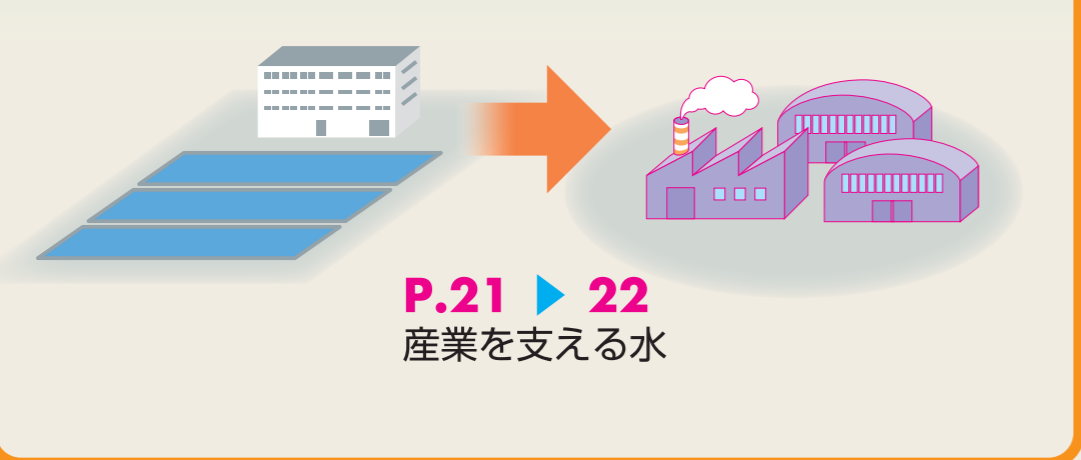
水道は、人々のいのちと暮らし、社会経済活動に欠かせない重要インフラです。大阪の水道を支える大規模水道事業体として、私たちが将来に向けて最も大切にしていく考え方を大阪広域水道企業団の理念として掲げています。将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給し続けるという使命を果たすため、水道を取り巻く様々な課題に対応し、長期的なビジョンを持って取り組みます。



### 水道用水供給事業・水道事業



### 工業用水道事業

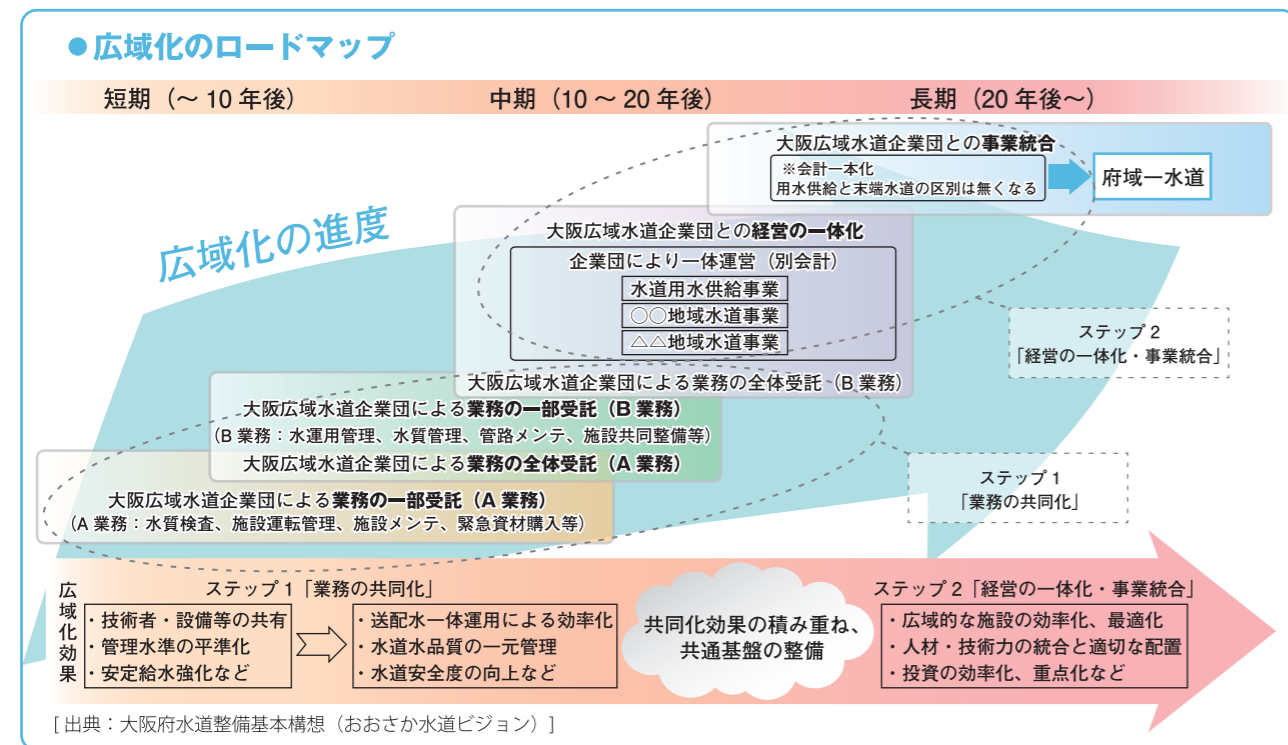


- P.23 ▶ 24** 地震・災害に強い水道をめざして
- P.25 ▶ 26** 環境にやさしい水づくり
- P.27** 広報活動・国際貢献
- P.28** 水源の状況
- P.29** 旧大阪府水道部・大阪広域水道企業団のあゆみ
- P.30** 所在地一覧

## 府域一水道の実現に向けて

人口減少等に伴う水需要・料金収入の減少をはじめ、老朽化した施設の更新・耐震化やベテラン職員の退職に伴う技術継承への対応など、大阪府内の水道事業は様々な課題に直面しています。

大阪広域水道企業団は、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的にお届けするため、大阪府が策定した「大阪府水道整備基本構想（おおさか水道ビジョン）」に基づき、府内の水道事業の効率化や運営基盤の強化につながる「広域化」（市町村水道事業との連携拡大や統合）を推進し、当企業団を核とした「府域一水道」（大阪府を含む府内の全市町村との水道事業統合）をめざしています。



### ステップ1 まずはできることから

広域化の推進にあたっては、災害用備蓄水の共同製作、水質管理業務の共同化といった「業務の共同化」など連携に取り組みやすい分野から、順次取組を進めています。

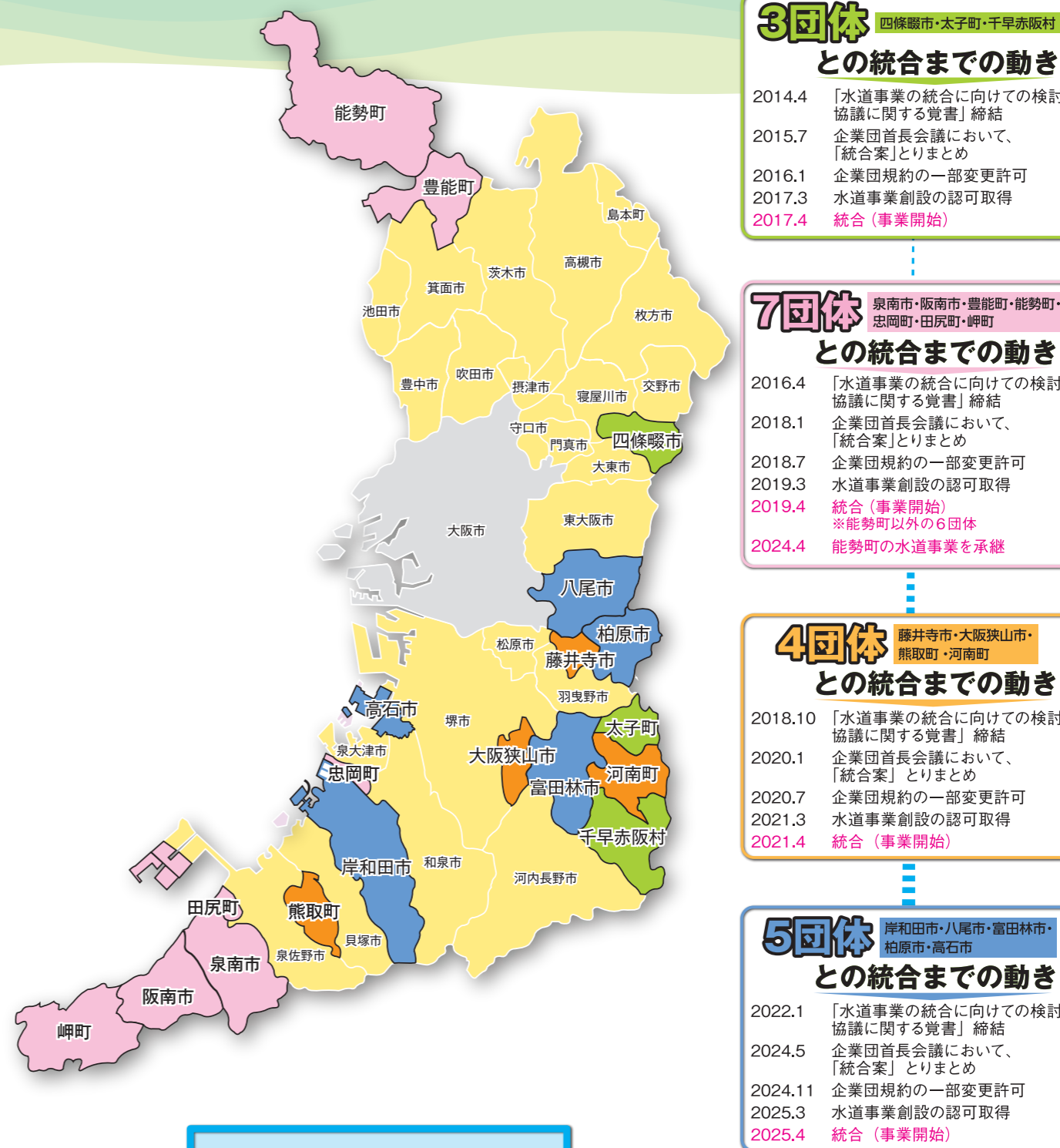
### ステップ2 進み始めた「府域一水道」

「経営の一体化」の取組として、市町村水道事業との統合に向け、検討、協議を進めています。

大阪広域水道企業団では2017年4月からこれまで、岸和田市をはじめ19団体の各水道事業を引き継ぎ、取水から家庭などへの給水までの水道事業全体を担っています。

これからも市町村水道事業との連携拡大や統合を進め、「府域一水道」の実現に向けて取り組みます。

## 大阪広域水道企業団と水道事業を統合した団体



**19団体/42団体**  
(構成団体)  
**(3+7+4+5)**



## 水道用水供給事業

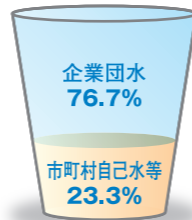
大阪府内の42市町村（大阪広域水道企業団が水道事業を実施している19市町村を含む。）に、総使用水量の約77%の水道用水を供給しています。

(2024年度)

水道用水供給事業の概要		
給水区域	32市9町1村	
年間給水量	502,982,646m <sup>3</sup>	
1日最大給水量	1,464,894m <sup>3</sup> /日	
1日平均給水量	1,378,035m <sup>3</sup> /日	
導・送水管 管路延長	約619km	
主な 水道施設	浄水場	3か所
	浄水池	6か所
	ポンプ場	16か所



水道用水供給事業とは、淀川の水を浄水処理し、家庭などへの給水を行う市町村水道に供給（卸売り）をする事業です。

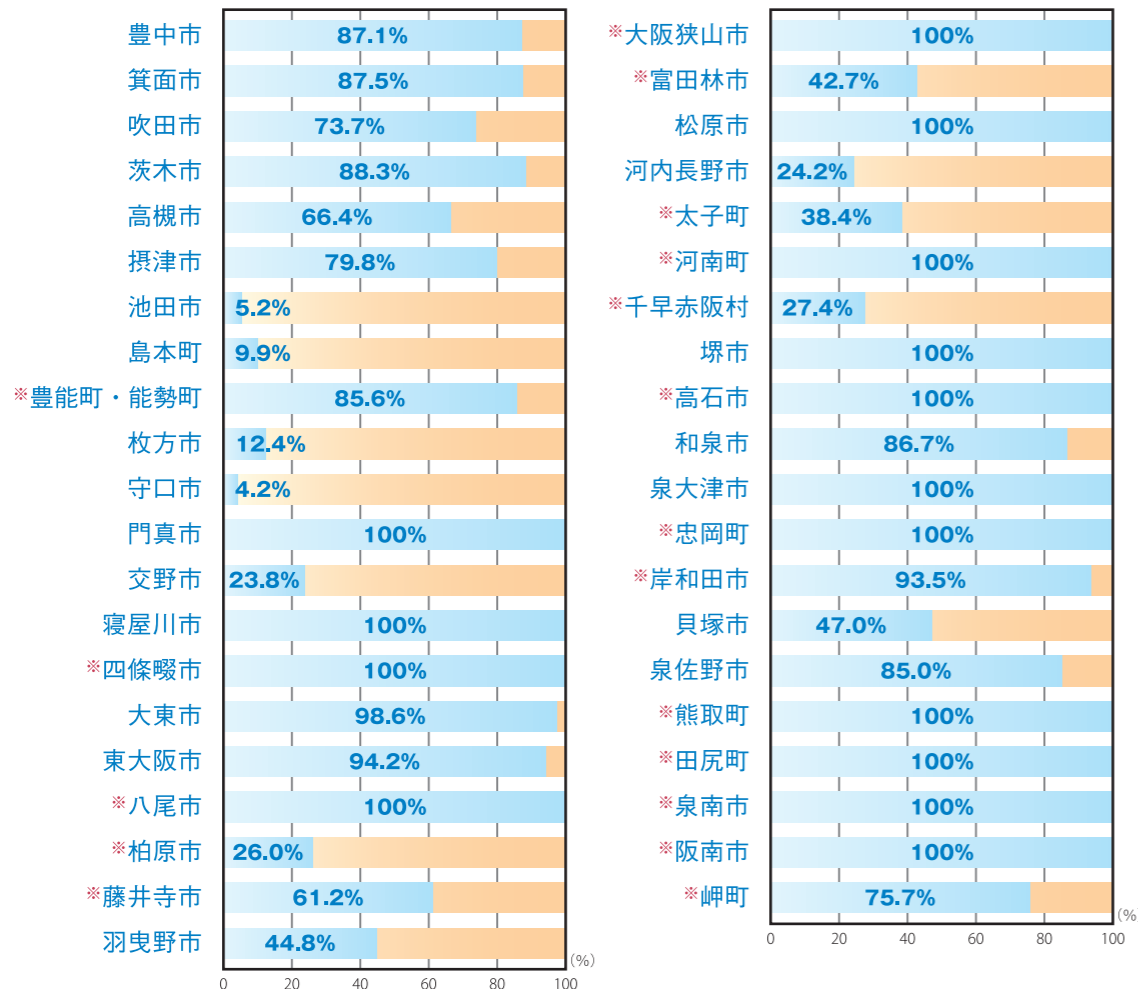


## 市町村の受水割合

企業団水（大阪広域水道企業団が淀川の水を浄水処理し、供給する水道水）と市町村自己水等（市町村の水源の水を浄水処理した水道水など、企業団水以外のもの）の割合は次のとおりです。

企業団水 市町村自己水等

(2024年度)



※大阪広域水道企業団が家庭などに直接給水する区域 (2026.4.1現在)

## 水道事業

2017年4月1日から市町村の水道事業との統合を開始し、2026年4月1日現在、大阪府内の19市町村において、水道事業を実施しています。

(2024年度)

水道事業の概要	岸和田水道事業	八尾水道事業	富田林水道事業	柏原水道事業	高石水道事業	藤井寺水道事業
給水区域 (給水人口)	岸和田市 (186,131人)	八尾市 (258,236人)	富田林市 (105,235人)	柏原市 (67,236人)	高石市 (56,103人)	藤井寺市 (62,008人)
年間配水量	21,287,547m <sup>3</sup>	30,260,270m <sup>3</sup>	11,050,829m <sup>3</sup>	7,796,352m <sup>3</sup>	6,383,000m <sup>3</sup>	6,615,537m <sup>3</sup>
1日最大配水量	62,960m <sup>3</sup> /日	92,168m <sup>3</sup> /日	33,794m <sup>3</sup> /日	23,771m <sup>3</sup> /日	19,020m <sup>3</sup> /日	20,110m <sup>3</sup> /日
1日平均配水量	58,322m <sup>3</sup> /日	82,905m <sup>3</sup> /日	30,276m <sup>3</sup> /日	21,360m <sup>3</sup> /日	17,488m <sup>3</sup> /日	18,125m <sup>3</sup> /日
導・送・配水管 管路延長	約782km	約753km	約500km	約259km	約174km	約199km
主な 水道施設	浄水場	1か所	0か所	1か所	0か所	2か所
	配水池	13か所	6か所	13か所	11か所	2か所
	ポンプ場	2か所	1か所	15か所	9か所	0か所

(2024年度)

水道事業の概要	泉南水道事業	四條畷水道事業	大阪狭山水道事業	阪南水道事業	豊能地域水道事業	忠岡水道事業
給水区域 (給水人口)	泉南市 (56,551人)	四條畷市 (53,675人)	大阪狭山市 (57,548人)	阪南市 (49,856人)	豊能町・能勢町 (26,465人)	忠岡町 (16,238人)
年間配水量	6,942,450m <sup>3</sup>	5,722,010m <sup>3</sup>	5,980,920m <sup>3</sup>	5,452,099m <sup>3</sup>	2,741,022m <sup>3</sup>	2,015,550m <sup>3</sup>
1日最大配水量	20,480m <sup>3</sup> /日	21,139m <sup>3</sup> /日	17,568m <sup>3</sup> /日	17,123m <sup>3</sup> /日	9,599m <sup>3</sup> /日	5,938m <sup>3</sup> /日
1日平均配水量	19,020m <sup>3</sup> /日	15,677m <sup>3</sup> /日	16,386m <sup>3</sup> /日	14,937m <sup>3</sup> /日	7,510m <sup>3</sup> /日	5,522m <sup>3</sup> /日
導・送・配水管 管路延長	約395km	約193km	約231km	約285km	約406km	約36km
主な 水道施設	浄水場	0か所	0か所	0か所	2か所	0か所
	配水池	6か所	8か所	4か所	14か所	44か所
	ポンプ場	6か所	5か所	1か所	10か所	33か所

(2024年度)

水道事業の概要	熊取水道事業	田尻水道事業	岬水道事業	太子水道事業	河南水道事業	千早赤阪水道事業
給水区域 (給水人口)	熊取町 (42,297人)	田尻町 (8,249人)	岬町 (14,181人)	太子町 (12,634人)	河南町 (14,472人)	千早赤阪村 (4,390人)
年間配水量	4,598,490m <sup>3</sup>	1,084,000m <sup>3</sup>	2,615,247m <sup>3</sup>	1,320,202m <sup>3</sup>	1,700,840m <sup>3</sup>	669,815m <sup>3</sup>
1日最大配水量	14,901m <sup>3</sup> /日	3,262m <sup>3</sup> /日	11,943m <sup>3</sup> /日	4,273m <sup>3</sup> /日	5,147m <sup>3</sup> /日	2,237m <sup>3</sup> /日
1日平均配水量	12,599m <sup>3</sup> /日	2,970m <sup>3</sup> /日	7,165m <sup>3</sup> /日	3,617m <sup>3</sup> /日	4,660m <sup>3</sup> /日	1,835m <sup>3</sup> /日
導・送・配水管 管路延長	約203km	約42km	約155km	約80km	約123km	約72km
主な 水道施設	浄水場	0か所	0か所	1か所	2か所	1か所
	配水池	4か所	1か所	9か所	6か所	8か所
	ポンプ場	0か所	0か所	3か所	2か所	6か所



## 浄水場



大阪広域水道企業団には、水道用水供給事業を担う村野浄水場、庭窪浄水場、三島浄水場の3か所の浄水場があり、合計233万 $\text{m}^3$ /日の施設能力（浄水処理能力）を有しています。また、水道事業では、淀川以外を水源とする浄水場が13か所あります。

## 水道用水供給事業

### ● 村野浄水場 施設能力 1,797,000 $\text{m}^3$ /日

大阪広域水道企業団が供給する水道用水の約8割をつくっており、わが国最大(世界でも有数)の施設能力を有する浄水場です。  
また、浄水施設を立体的に配置した、世界でも珍しい階層系浄水施設があります。



階層系浄水施設



村野浄水場

### ● 庭窪浄水場 施設能力 203,000 $\text{m}^3$ /日

1951年に給水を開始した、大阪広域水道企業団で最も歴史のある浄水場です。また、「触る・動かす」など、体験しながら楽しく水づくりを学べる見学施設があります。



水道見学施設(屋内展示室)



庭窪浄水場

### ● 三島浄水場 施設能力 330,000 $\text{m}^3$ /日

三島浄水場では、沈でん処理までを行う三島浄水施設(摂津市)と、ろ過処理以降を行う万博公園浄水施設(吹田市)に機能を分けて浄水処理をしています。万博公園浄水施設では、万博記念競技場の地下に浄水池やポンプ設備を配置し、土地を有効利用しています。



万博公園浄水施設



三島浄水場

## 水道事業

### ● 淀川以外を水源とする浄水場

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 豊能地域水道事業 | 古江浄水場、天王浄水場、妙見山浄水場 |
| 柏原水道事業   | 玉手浄水場              |
| 藤井寺水道事業  | 船橋浄水場、道明寺浄水場       |
| 富田林水道事業  | 日野浄水場              |
| 太子水道事業   | 板屋橋浄水場             |
| 河南水道事業   | 青崩浄水場              |
| 千早赤阪水道事業 | 岩井谷浄水場、千早浄水場       |
| 岸和田水道事業  | 流木浄水場              |
| 岬水道事業    | 孝子浄水場              |



道明寺浄水場



板屋橋浄水場

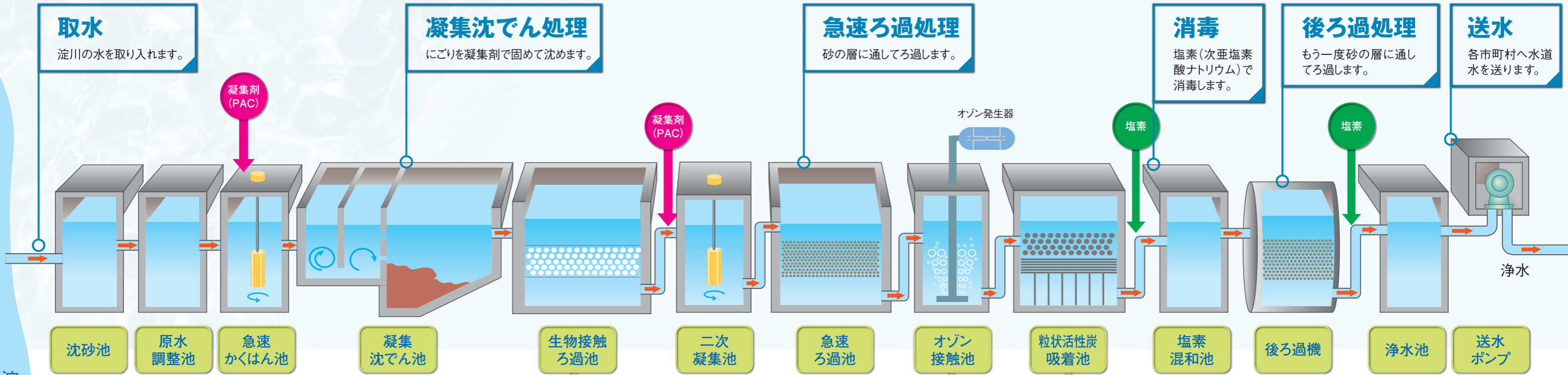


千早浄水場

## 水道水ができるまで

大阪広域水道企業団では、通常の浄水処理に加え、オゾン処理や粒状活性炭処理等の高度浄水処理を行っています。これにより、安全・安心でよりおいしく飲める水道水を大阪府内に供給しています。

### ● 処理フロー 庭窪浄水場の例



### 生物処理

繊維担体に付着している微生物の浄化作用を利用したもので、池の中に繊維担体を敷き詰め(充填厚さ2m)、沈でん処理水が繊維担体層を通る間に、水中のアンモニア態窒素やマンガ、濁質分を除去します。

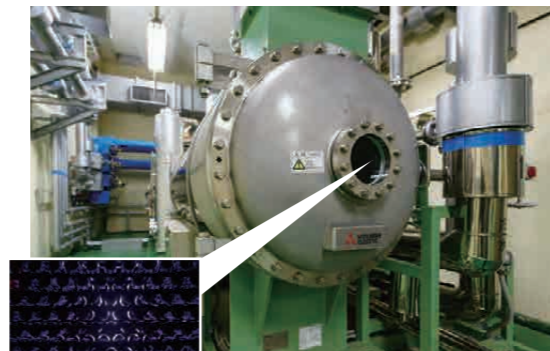


繊維担体(材料:ポリエステル、形状:5mmから7mmの球状)

### オゾン処理

オゾンは、その強い酸化力により、かび臭などの有機物を酸化・分解します。

さらに、塩素消毒に強い耐塩素性病原生物であるクリプトスポリジウムに対しても効果があり、従来の処理よりも安全性が高められます。



発生中のオゾン  
オゾン発生器



オゾン接触池

### 粒状活性炭処理

粒状活性炭は、1mm程度の大きさですが、その表面には目に見えない小さな穴が無数にあっています。このため、その表面積は1gあたり1,000㎡にもなります。

水の中に溶け込んでいる農薬、臭いやトリハロメタンの原因となる有機物は、この穴に取り込まれ除去されます。



粒状活性炭



## 総合的な水質管理

大阪広域水道企業団では、安全で良質な水道水をお届けするために、水源、浄水場での浄水処理過程、浄水場から送り出す水道水、給水栓（蛇口）に至るまできめ細かな水質管理を行っています。

また、近年の様々な水質の問題に対処できるよう、最新の分析機器を備え、水質基準項目をはじめ、水質管理目標設定項目、要検討項目など多数の項目について精密な水質検査を行っています。

### ～水質検査項目について～

水道水供給事業者、水道事業者には、水道法により水質検査の義務が課せられています。水道水質の検査項目は、国の省令等により次の項目が定められています。

#### ●水質基準項目

水道水が必ず水道水質基準に適合していなければならない項目  
 (一般細菌、大腸菌、金属類、かび臭、消毒副生成物、PFOS・PFOA、味、臭気、色度、濁度等)

#### ●水質管理目標設定項目

水質基準項目ではないが、一般環境中で検出されたり、使用量が多く今後水道水中でも検出される可能性があるなど、水道水質管理の上で留意すべき項目  
 (トルエン、農業類等)

#### ●要検討項目

毒性評価が定まらない、または水道水中での存在量が明らかでないなどの理由から、今後、必要な情報・知見の収集に努めていくべきとされている項目  
 (ダイオキシン類、アセトアルデヒド等)



### 水源の水質監視

水源の水質を他と協力して監視し、琵琶湖では、南湖を行い、富栄養化や状況を監視しています。また、淀川でも主要な地点で毎月水道事業者と協力して監視しています。で毎月水質検査かび臭発生をします。流入する支川を含む水質検査を行っています。



### 浄水場の水質管理

浄水場では、浄水過程で自動水質検査により、安全で良質な水があるかを監視・制御。処理の様々な測定機器と水道水に適するにつられてしています。



### 送水の水質管理

浄水場から送り出す水道水は、送水幹線上の多数の地点で、同時に、毎月、きめ細かい水質検査を実施して、水質管理を行っています。



### 給水栓の水質管理

配水区域ごとに選定し、毎日、色、残留効果(残留塩素)とともに定期的に精密水道水の安全性を給水栓(蛇口)にごり、消毒の検査を行い、確認しています。



※岸和田市、八尾市、富田林市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、柏原市、高石市、藤井寺市、泉南市、四條畷市、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村の区域



水源から給水栓（蛇口）までの水道システム全体で水道法に基づく安全性を確保しています。

### ～原水の水質を監視するもう一つの目～

毒物や微量な有機化学物質の流入を検知する装置により、24時間連続で原水の水質を監視しています。

#### ●メダカを用いた原水水質監視装置

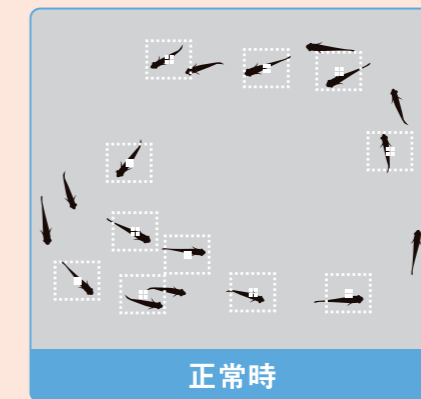
メダカの本能的行動を利用して原水中の有害物質を早期に感知します。

#### メダカが原水の異常を察知します

測定水槽で飼育するメダカをCCDカメラで常時撮影し、その映像を画像処理します。

水質に異常があった場合、メダカは捕食防御本能（危険がせまると小型魚は群れで固まり、大きくみせようとする）により群れで固まります。このように行動パターンの異常が確認された場合、水質異常と判断し、自動的に警報が出るようになっています。

#### メダカの行動パターン



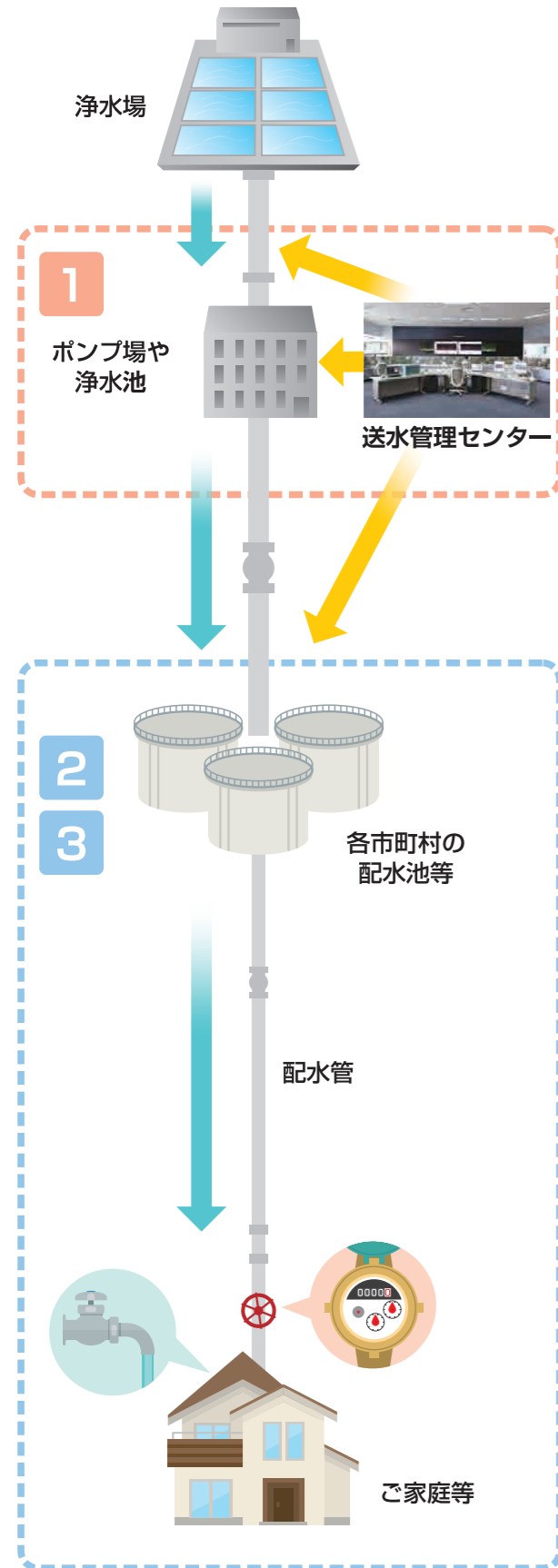
#### ●ゆうきセンサー

ベンゼンやトルエンなどの有害物質を24時間連続で監視する装置で、一定の基準を超えると警報を発します。

1時間に1回の頻度で連続した自動測定・分析を行い、多くの物質を同時にチェックできます。



## 水道水をお届けするまで



### 1 送水

浄水場で作られた水は、送水ポンプにより、中継ポンプ場や各市町村の配水池等へと送られます。



送水ポンプ

### 2 配水

各市町村の配水池等へ送られた水は、配水管によりそれぞれの配水区域へと配られます。

配水池は1日の水需要に応じて水量を調整するだけでなく、災害時等に備え、水を貯える役割もあります。



配水池

### 3 給水

配水管から分岐した給水装置により、ご家庭等に水が届けられます。



各ご家庭の蛇口等

## 水道水を送り届けるために



生活に欠かすことのできない水道水を絶え間なく送り続けるために、管路やポンプ場等の送配水施設の適切な維持管理を行うとともに、施設の更新・耐震化などの建設工事を行っています。  
また、震災等の災害発生時に備え、市町村と連携し、応急給水や施設復旧の訓練等も実施しています。

担当区域	
<b>水道用水供給事業</b>	
<b>北部水道事業所</b>	淀川以北に位置する10市町 (豊中市、箕面市、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、池田市、島本町、豊能町、能勢町)
<b>東部水道事業所</b>	淀川と大和川の間に位置する9市 (枚方市、守口市、門真市、交野市、寝屋川市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市)
<b>南部水道事業所</b>	大和川以南に位置する23市町村 (柏原市、藤井寺市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、松原市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村、堺市、高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町)
<b>水道事業</b>	
<b>水道センター</b>	大阪広域水道企業団が水道事業を承継した19市町村

#### 日々の維持管理



水道管の維持管理作業(弁点検)

#### 市町村との連携



市町村との応急給水訓練

#### 建設工事



送水管の布設工事



浄水池の耐震補強工事



送水ポンプ設備の更新工事

## くらしの水を支える拠点



大阪広域水道企業団では、大阪府内の19市町村において、家庭や学校、会社などへの給水を行う水道事業を実施しています。

各地域にそれぞれ水道センターを設置し、各センターにおいて水道の使用開始等の手続や水道メーターの検針、水道管の更新・耐震化、漏水調査などの業務を行い、安全・安心でおいしい水道水の安定供給に努めています。



水道の使用開始等の受付

水道メーターの検針

水道メーターの交換

水道管の布設・更新

### 豊能地域水道事業



### 施設配置図

2026年4月1日現在

◆水道センター ■浄水場 ●配水池 ▲ポンプ場

### 四條畷水道事業



### 八尾水道事業・柏原水道事業・藤井寺水道事業





## 施設配置図

2026年4月1日現在

◆ 水道センター ◆ 水道センター出張所 ■ 浄水場 ● 配水池 ▲ ポンプ場

### 泉南水道事業・熊取水道事業・田尻水道事業



### 阪南水道事業・岬水道事業



## 工業用水道の概要

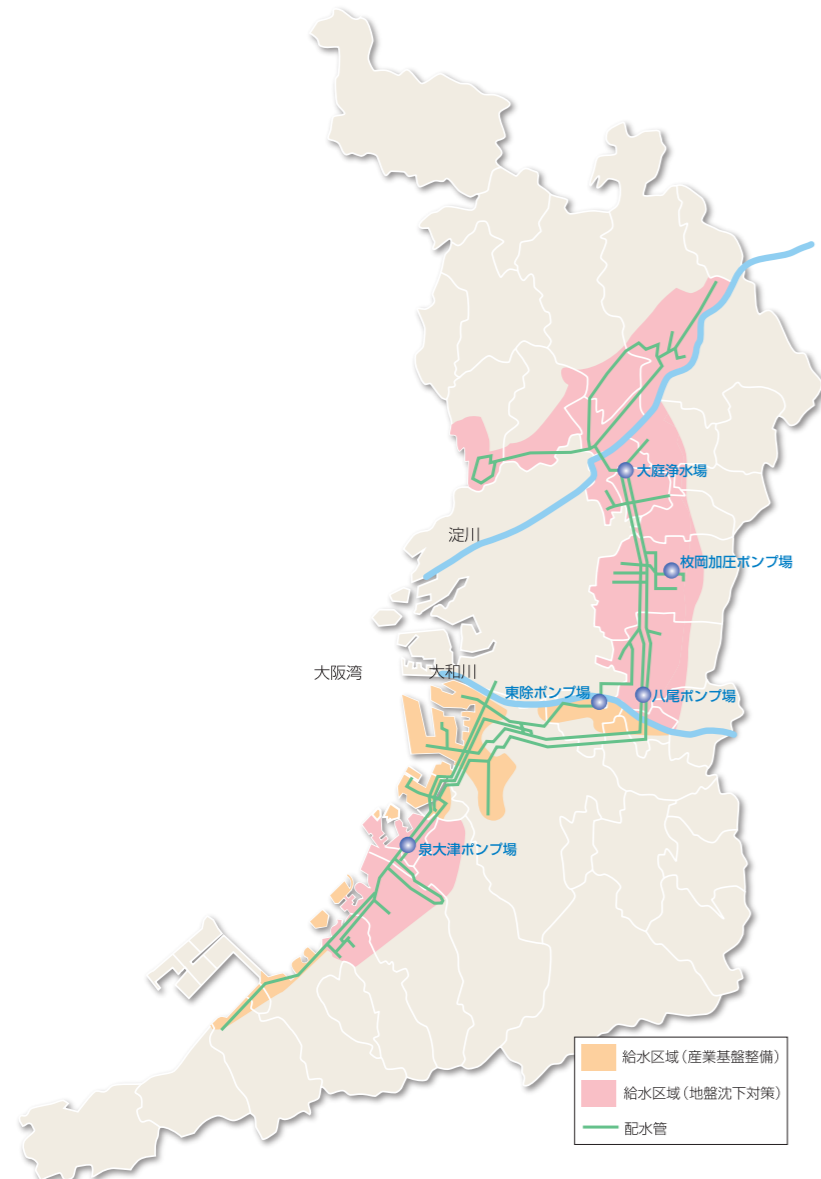
大阪広域水道企業団では、経済発展のための「産業基盤整備」として、また、地下水の汲み上げ規制に伴う代替水源確保のための「地盤沈下対策」として、大阪府内25市2町において工業用水をお届けしています。

### ●産業基盤整備

堺・泉北臨海工業地域における工業用水の需要に対応するため、「産業基盤整備」として、1959年度から1969年度にかけて工業用水道を整備しました。また、1987年度から1994年度にかけて関西国際空港の対岸のりんくうタウンや食品コンビナートへの施設整備を行い、産業の発展に貢献してきました。

### ●地盤沈下対策

かつて工業用途に地下水を過剰に汲み上げた結果、地盤沈下が起こり、台風や高潮による浸水等の被害が発生しました。この対策の一つとして、北摂、東大阪、泉州地域における工業用途の地下水については、工業用水道に転換されることになり、「地盤沈下対策」として1964年度から1979年度にかけて工業用水道を整備しました。



(2024年度)

工業用水道事業の概要		
給水区域 (受水事業者)	25市2町 (414事業所)	
年間配水量	80,893,200m <sup>3</sup>	
1日最大配水量	268,210m <sup>3</sup> /日	
1日平均配水量	215,061m <sup>3</sup> /日	
導・配水管 管路延長	約523km	
主な 水道施設	浄水場	1か所
	ポンプ場	4か所

## 給水区域・施設配置

2026年4月1日現在

### ●給水区域：25市2町

豊中市・吹田市・茨木市・高槻市・摂津市・守口市・門真市・寝屋川市・四條畷市・大東市・東大阪市・八尾市・柏原市・藤井寺市・羽曳野市・松原市・堺市・高石市・和泉市・泉大津市・忠岡町・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・田尻町・泉南市・大阪市



工業用水道施設における維持管理

	担当区域
<b>工業用水道事業</b>	
北部 水道事業所	淀川以北に位置する5市 (豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市)
東部 水道事業所	淀川と大和川の間に位置する7市 (守口市、門真市、寝屋川市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市)
南部 水道事業所	大和川以南に位置する14市町及び大阪市 (柏原市、藤井寺市、羽曳野市、松原市、堺市、高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、田尻町、泉南市、大阪市)

## 浄水場

### ●大庭浄水場

施設能力 470,000m<sup>3</sup>/日

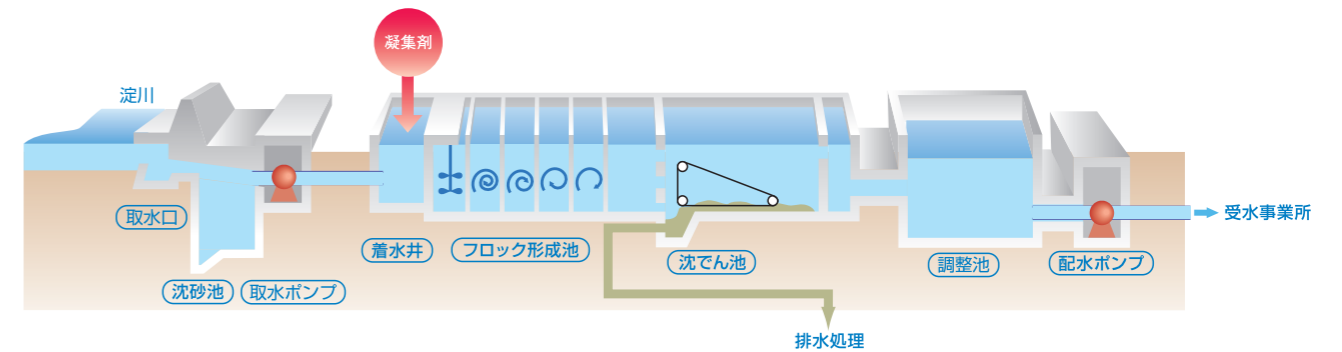
大庭浄水場は、工業用水道事業を担う浄水場で、取水した水を沈んで処理した後、大阪府内の各受水事業所に工業用水を届けています。



大庭浄水場

### ●処理フロー（工業用水ができるまで）

取水口から水を取り入れ、沈砂池で水中の粗いごみや砂を沈めます。その後、取水ポンプで着水井に送り、凝集剤を注入した後、フロック形成池、沈でん池で水中の浮遊物などをフロック（にごりの集まり）として沈でんさせます。このようにして作られた工業用水は、調整池に貯水された後、配水ポンプで圧送し、各受水事業所へお届けしています。



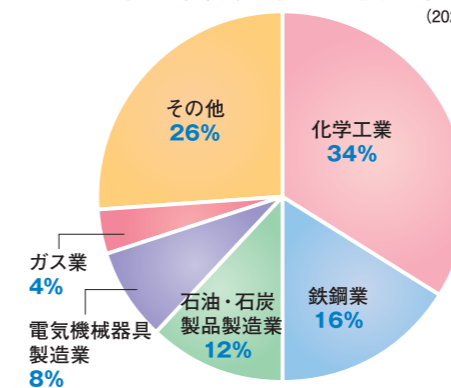
## 工業用水の用途

工業用水道は、工業をはじめとする様々な産業に必要な水を水道水よりも安価にお届けしています。業種別では、化学、鉄鋼、石油・石炭製品など多種多様な分野におよんでいます。また、工場における冷却や洗浄といった工業用途に加え、清掃など雑用水※としても利用されています。

※雑用水とは、工業用途（製造業、電気・ガス・熱供給業）以外の目的で使用される水をいいます。

### ●工業用水道産業別実使用水量割合

(2024年度)



- 工場における冷却用、洗浄用、ボイラー用、原料用等
- 工場内の清掃用
- ビルやショッピングセンターの冷暖房、清掃用
- トラックや電車等の洗浄用

## 主な取組

### ●「あんしん水道ライン」の整備

震災等の大規模災害時にも、一定の水量を供給するため、主要な系統を「あんしん水道ライン」と定め、段階的に施設の更新・耐震化に取り組んでいます。

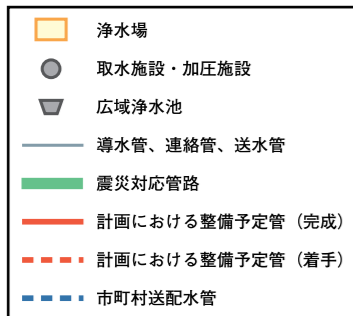
### ●系統連絡管等の整備

事故時や災害時のバックアップ能力を強化するため、系統連絡管の整備や送水管路の2重化、ループ化に取り組んでいます。

系統連絡管等の大容量送水管は、非常時に備えた貯水機能を有しており、災害時には応急給水拠点としての活用も可能です。

### 震災対応管路の設定

「あんしん水道ライン」上の送水管路のうち、震災時においても各市町村にある少なくとも1か所の受水分岐に送水するための管路を「震災対応管路」として設定し、同管路の更新・耐震化と同管路上の浄水池・ポンプ場の耐震化を優先的に進めます。



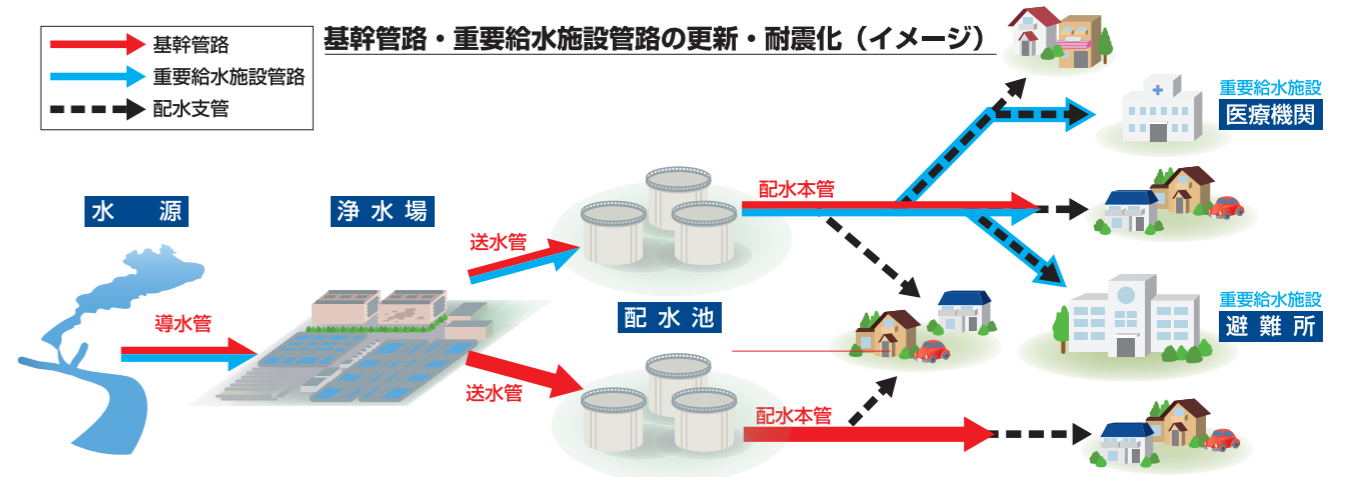
※計画：大阪広域水道企業団経営戦略2020-2029



## 災害に強い水道施設の構築

震災等の災害時においても可能な限り給水が継続できるよう、基幹管路と重要給水施設管路の更新・耐震化を優先的に進めます。

また、風水害に対応するため、重要施設の浸水対策や非常用電源の確保など停電対策に取り組みます。



## その他の取組

### 災害用備蓄水

持ち運びに便利なアルミボトル缶の備蓄水（内容量490ml）を大阪府内に100万本配備

### 災害時支援協力員（水道あしすと）

拠点給水施設での応急給水の補助や施設の被害情報の収集を行うボランティア団体

### 被災地での応急給水活動

被災地の給水活動拠点において自衛隊と連携して給水活動に従事

### 拠点給水設備（あんしん給水栓）

災害時に市町村水道の給水活動を支援するための設備

### 給水車

大規模地震などの災害発生時の応急給水活動に使用する給水車

## 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

水は自然からの大いなる恵みであり、水道事業は環境と深い関わりを持っています。また、「水」を私たちが安全に安心して利用できる「水道水」にするまでには、電力をはじめ非常に多くのエネルギーを必要とします。

大阪広域水道企業団では、「環境にやさしい水づくり」をめざして、省エネルギー対策や新エネルギー設備の活用、リサイクルの推進など環境保全の取組を推進しています。

### ●浄水発生土の有効利用の促進

水道水をつくる過程で、水中に浮遊しているにごり成分を取り除きますが、このにごり成分を集めて凝縮し、土状にしたものを浄水発生土といいます。

浄水発生土は、そのままでは産業廃棄物として処理をすることになりますが、企業団では、無薬注脱水和乾燥処理を行い減量を図るとともに、「あくあふれん土」という愛称で、ランド用資材・園芸用土として、民間業者への販売や大阪府内公共事業体への譲渡等を行い、有効利用を促進しています。



浄水発生土



あくあふれん土使用例1



乾燥機



あくあふれん土使用例2

## ゼロカーボンドライブの実施

### ●環境に配慮した公用車の調達

大阪広域水道企業団では、2022年3月に関西電力株式会社と「カーボンニュートラルの推進等に関する包括連携協定」を締結し、カーボンニュートラルの推進やレジリエンスの強化等を図るため、連携した取組を推進しています。

この取組の一つとして、太陽光で発電した電力を電気自動車に活用する「ゼロカーボンドライブ」(水道事業者としては国内初の取組)を実施しています。



電気自動車

## 再生可能エネルギーの利用

大阪広域水道企業団では、事業活動で消費するエネルギーや発生する二酸化炭素の削減に取り組むため、浄水処理や送水運用の効率化などの省エネルギー対策を行うとともに、新エネルギーや未利用エネルギーの活用等にも取り組んでいます。

### ●太陽光発電設備

村野浄水場と三島浄水場では、ろ材の目詰まり等を起こす藻の発生を抑制するため、沈でん池上部に遮光板を設置しています。その表面に太陽光電池パネルを設置し、得られた電力を水づくりに役立てています。

2024年度は、大阪広域水道企業団全体で、太陽光発電設備によって一般家庭約260世帯の年間使用電力量に相当する電力を発電しました。



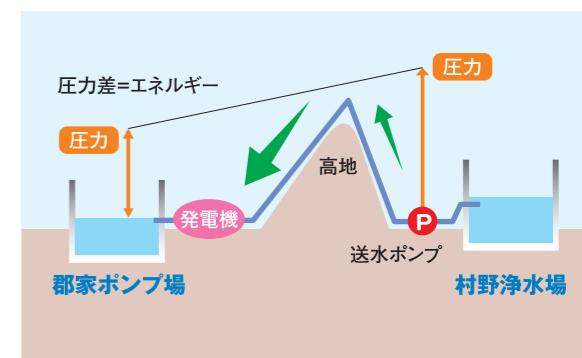
太陽光発電設備

最大発電電力(公称)	村野浄水場 855kW* 三島浄水場 360kW
------------	-----------------------------

※村野浄水場は、2023年に平面系高度浄水処理施設屋上に設置した太陽光発電パネルによる電力(最大発電電力495kW)を含む。

### ●受水圧力発電設備

村野浄水場と郡家ポンプ場の間には高地があるため、送水ポンプで高い圧力をかけて水を送り出していますが、低地にある郡家ポンプ場に水が届く際には余剰圧力が生じます。郡家ポンプ場では、この余剰圧力を回収して発電しています。



発電の仕組み

最大発電電力(公称)	320kW
------------	-------

### ●小水力発電設備

和泉浄水池では、泉北浄水池との高低差を活用した小水力発電を行っています。和泉浄水池の施設の一部を貸し出し、民間事業者が発電設備を設置したもので、大阪広域水道企業団は発電量に応じた収益を得ながら、未利用エネルギーの活用を行っています。



小水力発電設備

最大発電電力(公称)	50kW
------------	------

# PR・情報発信

## ●出かける浄水場

大阪府内の小学校に職員等が出向き、子どもたちに水づくりの実験により体験型学習を提供する「出かける浄水場」を実施しています。



出かける浄水場

## ●浄水場見学

府内小学校等の施設見学を受け入れ、水づくりの様子を学んでもらっています。

## ●各種イベントへの参加

府内市町村で行われる各種イベントに参加して、利用者とのコミュニケーションを図りながら、水道水の安全性やおいしさ、水の備蓄の重要性などを啓発しています。



▲水道週間イベント  
◀企業団X(二次元コード)

## ●SNSの活用

災害時等に最新情報を素早く発信することを目的としてX(旧:Twitter)を運用しています。平常時は水道水に関する情報や防災啓発に関する情報のほか、イベント等に関する情報発信も行っています。

# 国際技術協力の推進

国際協力への要請や技術支援のニーズが高まる中、大阪広域水道企業団では、国際的な視野と専門性に富み、実務能力の優れた人材の育成に努め、様々な国際貢献を行っています。

## ●海外研修生の受入れ

独立行政法人国際協力機構(JICA)や国からの要請を受け、研修生を受け入れ、浄水処理、水質管理、危機管理等の研修を行っています。



海外研修生の受入れ

## ●タイ王国首都圏水道公社(MWA)との技術交流

長年交流を続けてきたタイ王国首都圏水道公社(MWA)と企業団双方の水道事業の一層の発展を目的として、2012年に技術交流の覚書を締結し、技術交流研修を実施しています。



MWA との技術交流会

## ●技術協力専門家派遣

世界各地で安全な水道水が飲める環境を広げるため、東南アジアを中心に職員を派遣し、技術協力を行っています。

## ●災害派遣

海外での災害発生時には、国等からの要請を受け、海外に職員を派遣しています。

# 水源の状況 (水道用水供給事業・工業用水道事業)

大阪広域水道企業団では、渇水期においても安定した給水が可能な水源を確保しています。





1940	4月	府営水道用水供給事業に着手
1951	2月	庭窪浄水場通水
1959	4月	府営第1次工業用水道事業に着手
1962	5月	府営第1次工業用水道の給水開始
1963	7月	村野浄水場通水
1966	3月	大庭浄水場通水
1967	12月	三島浄水場通水
1994	7月	村野浄水場高度浄水施設通水
1998	7月	市町村への給水をすべて高度浄水処理水に転換
2006	10月	豊能町、能勢町へ給水開始(大阪市を除く府内全市町村に給水)
2010	11月	大阪広域水道企業団設立
2011	4月	大阪府水道部廃止、大阪広域水道企業団が水道用水供給事業、工業用水道事業を開始(府水道部の事業を承継)
2017	4月	大阪広域水道企業団が水道事業を開始(四條畷市、太子町、千早赤阪村の水道事業を承継)
2019	4月	泉南市、阪南市、豊能町、忠岡町、田尻町、岬町の水道事業を承継
2021	4月	藤井寺市、大阪狭山市、熊取町、河南町の水道事業を承継
2023	12月	三島浄水場の工業用水道の機能を大庭浄水場に一元化
2024	4月	能勢町の水道事業を承継
2025	4月	岸和田市、八尾市、富田林市、柏原市、高石市の水道事業を承継

大阪広域水道企業団	〒540-0012	大阪市中央区谷町二丁目3番12号マルイト谷町ビル	TEL:06-6944-6862	FAX:06-6944-6868
● 経営管理部				
● 総務部				
● 広域事業部				
● 水道事業部				
● 村野浄水場	〒573-0014	枚方市村野高見台7番2号	TEL:072-840-5266	FAX:072-848-4384
● 庭窪浄水場	〒570-0009	守口市大庭町二丁目30番18号	TEL:06-6908-1951	FAX:06-6909-9050
大庭浄水場		守口市佐太中町二丁目33番91号		
三島浄水場		摂津市一津屋三丁目1番1号		
万博公園浄水施設		吹田市千里万博公園5番3号		
● 送水管理センター	〒577-0803	東大阪市下小阪四丁目1番27号	TEL:06-6730-6692	FAX:06-6727-9065
● 北部水道事業所	〒565-0824	吹田市山田西四丁目3番1号	TEL:06-6875-2101	FAX:06-4864-9004
● 東部水道事業所	〒577-0803	東大阪市下小阪四丁目1番27号	TEL:06-6725-0081	FAX:06-6722-6610
● 南部水道事業所	〒594-0031	和泉市伏屋町五丁目7番10号	TEL:0725-57-2181	FAX:0725-50-2167
● 水質管理センター	〒573-0014	枚方市村野高見台7番2号	TEL:072-840-3183	FAX:072-840-2281
河南水質管理ステーション				
日野検査室	〒586-0085	河内長野市日野1376番地の2 (河内長野市日野浄水場内)	TEL:0721-63-3222	FAX:0721-63-0550
太満池検査室	〒599-8124	堺市東区南野田630番地の1 (旧太満池浄水場内)	TEL:072-365-0259	FAX:072-365-0259
● 岸和田水道センター	〒596-0074	岸和田市本町6番1号 (岸和田市役所内)	TEL:072-423-9593	FAX:072-423-4885
● 八尾水道センター	〒581-0007	八尾市光南町一丁目4番30号	TEL:072-923-6546	FAX:072-991-5991
● 富田林水道センター	〒584-0036	富田林市甲田二丁目12番44号	TEL:0721-24-1200	FAX:0721-25-7444
● 柏原水道センター	〒582-0016	柏原市安堂町1番55号 (柏原市役所内)	TEL:072-972-1605	FAX:072-973-0100
● 高石水道センター	〒592-0011	高石市加茂四丁目1番1号 (高石市役所内)	TEL:072-275-6427	FAX:072-265-9916
● 藤井寺水道センター	〒583-8583	藤井寺市岡一丁目1番1号 (藤井寺市役所内)	TEL:072-939-1302	FAX:072-939-7036
● 泉南地域水道センター	〒590-0521	泉南市樽井737番地	TEL:072-482-6551	FAX:072-482-1460
● 四條畷水道センター	〒575-0051	四條畷市中野本町1番44号	TEL:072-876-6221	FAX:072-879-7185
● 大阪狭山水道センター	〒589-8501	大阪狭山市狭山一丁目2384番地の1 (大阪狭山市役所内)	TEL:072-349-9403	FAX:072-366-0034
● 豊能地域水道センター	〒563-0103	豊能郡豊能町東ときわ台一丁目2番地の3	TEL:072-738-3311	FAX:072-738-7527
● 忠岡水道センター	〒595-0805	泉北郡忠岡町忠岡東一丁目34番1号 (忠岡町役場内)	TEL:0725-22-1122	FAX:0725-31-3788
● 熊取水道センター	〒590-0422	泉南郡熊取町希望が丘二丁目15番4号	TEL:072-452-0357	FAX:072-452-7865
● 南河内地域水道センター	〒583-0995	南河内郡太子町太子353番地の1 (板屋橋浄水場内)	TEL:0721-98-5536	FAX:0721-98-4622

